

## ◇編集後記◇

本号の JOH 誌は、オリジナルペーパー 7 本、フィールドスタディ、ケーススタディ、ショート・コミュニケーション各 1 本で構成されています。うち日本からの掲載論文は 3 編でしたが、中国からも同数の貢献がありました。このほか、タイ、韓国、インド、イタリアとアジアを含めて貢献いただく地域の広がりを感じております。産業衛生学雑誌も久しぶりに原著と短報各 1 本が掲載されました。原著では職域における追跡調査の知見が報告され、短報では簡易な核心温測定法が提案されています。どちらも産業保健活動、および関連する研究に貴重な示唆と有用な情報を提供していただいています。

さて、編集委員会では、このところの和文誌への投稿数・掲載論文数が減少していることを踏まえて、和文誌の活性化についての議論がなされています。和文誌では、従来からも興味深いテーマで教育的な連載が行われ、わたくし自身も、産業保健活動や研究テーマの設定等に、たいへん参考にさせていただいておりましたが、あらためてアイデアを出し合い新たな企画を検討しているところです。

現編集委員会も「話題」は積極的に採用するようにし、

可能な場合は「話題」に、他の専門家からの論評を依頼して、関連事項に関する議論を深める試みを始めています。このほか、会員の皆様からの調査報告やグッドプラクティスも歓迎しています。また、もとより英文誌への投稿は奨励するものですが、中には、国際誌の原著としては他の論文に埋没してしまいがちなものでも、和文として広く会員に知っていただくとたいへん価値が出てくるような内容をもった投稿も見られます。発信される情報と受信者を適切につなぐために、投稿者にご理解とご協力を求めているのも編集委員会の務めかと考えています。

和文誌において、産業保健や関連する環境問題の喫緊の課題について解説や論評を発信し、会員の皆様の関心や研究の方向性を示していくといった意見も出されています。以上のような各編集委員からの魅力的な提案を活かしていくよう努めてまいりたいと思っております。いずれにせよ、会員の皆様に、ご意見や情報を活発に発していただくことが、産業衛生学雑誌を質の高い情報交換の場に高めていくことにつながるものと考えています。

(堤 明純)

## 「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：川上憲人（東京大）

副委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大）、井上和男（東京大）、上島通浩（名古屋大）、

車谷典男（奈良医大）、堤 明純（産業医大）、森 満（札幌医大）、森本泰夫（産業医大）

有澤孝吉（徳島大）、石竹達也（久留米大）、市場正良（佐賀大）、小笹晃太郎（京都府医大）、掛本知里（東京女子医大）、川口陽子（東京医歯大）、熊谷信二（大阪府公衛研）、黒沢洋一（鳥取大）、河野公一（大阪医大）、酒井一博（労働科学研）、榊原久孝（名古屋大）、澤田晋一（独法労働安全衛生総研）、塩飽邦憲（島根大）、菅沼成文（高知大）、笠島 茂（国立保健医療科学院）、埜田和史（滋賀医大）、竹内 亨（鹿児島大）、田中昭代（九州大）、谷川 武（愛媛大）、土井由利子（国立保健医療科学院）、中尾睦宏（帝京大）、橋本英樹（東京大）、馬場園明（九州大）、濱田篤郎（海外勤務健康管理センター）、福島哲仁（福島医大）、丸山総一郎（神戸親和女子大）、三木明子（筑波大）、村田勝敬（秋田大）、森河裕子（金沢医大）、八幡勝也（産業医大）、吉田貴彦（旭川医大）、若林一郎（兵庫医大）、渡辺博且（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番